

「青少年のための科学の祭典」紀北大会報告書

- ①主催 「青少年のための科学の祭典」紀北大会実行委員会
共催 公益財団法人日本科学技術振興財団
- ②後援 文部科学省、三重大学、三重県教育委員会、津市教育委員会、亀山市教育委員会、名張市教育委員会、伊賀市教育委員会、尾鷲市教育委員会、熊野市教育委員会、紀北町教育委員会、三重県総合博物館、三重県教職員組合、三重県小学校理科教育研究会、三重県中学校理科教育研究会、三重県高等学校理科教育研究会、三重県中学校技術・家庭科研究会、全国科学館連携協議会、全国科学博物館協議会、NHK、日本物理教育学会、一般社団法人日本生物教育学会、日本地学教育学会、日本基礎化学教育学会、一般社団法人日本科学教育学会、一般社団法人日本理科教育学会、一般社団法人日本地質学会、一般社団法人日本生物物理学会、一般社団法人日本物理学会、公益社団法人応用物理学会、公益社団法人日本化学会、一般社団法人日本機械学会、公益社団法人日本アイソトープ協会、公益社団法人日本理科教育振興協会、一般財団法人日本私学教育研究所、公益社団法人日本植物学会、公益社団法人日本動物学会、公益社団法人日本天文学会、公益社団法人日本工学会、一般社団法人電気学会、日本エネルギー環境教育学会、朝日新聞社、毎日新聞社、読売新聞社、産経新聞社津支局、中日新聞社、伊勢新聞社、三重テレビ放送、株式会社ZTV
- ③協賛 中部電力株式会社、岡三加藤文化振興財団、株式会社啓林館、大日本図書株式会社、株式会社学研エデュケーショナル、株式会社リコー、WDB株式会社 エウレカ社
- ④会場 紀北教育会館（〒519-3406 三重県北牟婁郡紀北町相賀 379-1）
- ⑤開催日時 令和元年 11月9日（土）10:00～15:00 開催
- ⑥来場者数 800人（子ども 550人 大人 250人）
- ⑦総出展数 20ブース
- ⑧出展タイトル一覧
【科学工作体験コーナー】
- ① ふわふわっとボールを浮かせて遊ぼう
 - ② いろいろなロケットをつくって飛ばそう！
 - ③ ストロー吹き矢で科学
 - ④ ミニ浮沈子をつくろう
 - ⑤ 回転スネークで音の正体を探ろう
 - ⑥ ケロケロッ！カエルの鳴き声発生器をつくろう
 - ⑦ プラバンでアクセサリーづくり
 - ⑧ 心なごむ万華鏡をつくろう
 - ⑨ ストロー風車を楽しもう
 - ⑩ くるくる登るテントウ虫で磁石の性質を探ってみよう

【わくわくドキドキ体験コーナー】

- ⑪ バランス蝶や宙返りネコの不思議発見
- ⑫ プログラミングロボで遊ぼう
- ⑬ 紙づくりにチャレンジ
- ⑭ はずむはずむ！スーパーボール
- ⑮ いろいろな空気砲を体験してみよう
- ⑯ 驚き！不思議！大気の力！
- ⑰ 惑星ゴマをつくって回そう
- ⑱ なぜ？ Why？ スターリングエンジン、振り子の足跡など
- ⑲ オモシロ科学体験ワールド～音や光、電気や磁石の性質を探ろう～
- ⑳ 地震と液状化現象 ～実験で体験してみよう～

⑨製作物

- ・チラシ : A4版／モノクロ／製作部数： 4000 枚
- ・看板3枚、各ブース名称パネル：20枚

⑩広報活動

1. 案内チラシは、教育委員会、各学校長を通じ、紀北町、尾鷲市、熊野市の各小中学校、高校に配布。大会の案内記事を地元新聞の「紀勢新聞」10/27、「南海日日新聞」11/1に掲載
2. 大会のようすが「紀勢新聞」11/10、「南海日日新聞」11/10、「中日新聞」11/10に掲載される。さらに「紀勢新聞」が「科学的な見方、考え方に触れる」という特集記事を組み、大会の各ブースの様子が詳しく掲載される。
また、紀北ZTVでは、11月11日（月）から13日（水）までの期間に合わせて計12回放映される。